

れんごう中越地協

第971号2018.7.11
連合中越地域協議会
長岡市東蔵王2-2-68
TEL 0258-24-0515
FAX 0258-24-8930
発行人 矢島 良彦
定価 1部10円
購読料は会費に含まれる



連合中越地協第84回地協委員会

2月以降の活動 中間決算等承認

前段では、飯田全労済新潟推進本部中越支所長がミニ講演

連合中越第84回地協委員会が、6月21日(木)に開かれた。午後6時からの地協委員会前ミニ講演では、飯田全労済新潟推進本部中越支所長から、全労済との事業統合の経過や変更点等について講演を受けた。委員会では当面する諸事業等を審議決定した。



午後6時からの地協委員会は、委員の前ミニ講演は、飯田全労済新潟推進本部中越支所長から、総更点等を、総合生協の歴史とあわせ説明した。

だき、引き続きの利用促進を共有した。

地協委員会は、午後6時30分に開会した。矢島議長は開会挨拶で「春闘に触れ、人手不足感の中でベースアップがはかられた。経営側の意向大だったか。労組としてどうだったのか」と述べ、来年のメーデーについて「5月1日としていたが、国事行為もあり4月27日に前倒しする」と述べた。また、県知事選挙に対しては「各種要請に応えたが惜敗であった。来春、来夏に向け、力添えを求めたい」と述べた。

報告事項では、構成組織等の事情による幹事会役員の退任と交替を確認するとともに、2月以降の主な活動、統一地方選挙等に関する推薦関係と県知事選挙関係、中間決算報告、監査報告等を承認した。

また、構成組織からの報告として、小堺さん(電機連合・ケミコン長岡労組)からは、来期運動方針の内容と課題。室橋さん(JEC連合・石油資源開発労組)から組織状況や時間外労働上限規制等について報告された。

第2回支代表者会議 各支部中間決算と主な活動計画等協議

連合中越地協第2回支代表者会議が、6月16日(土)午後2時から高齢者センターでさじろで開かれた。矢島議長は開会にあたり挨拶で、メーデーをはじめとした各種事業、県知事選挙に触れた。

報告協議事項では、最初に各支部の中間決算報告を確認した。次に、メーデー及び各支部の年度末までの主な活動と支部総会を協議した。当面の支部活動として次の報告があった。

続いての審議予定事項では、当面する機関協議等の日程。第2回中越地協医療部門連絡会(8月4日)。自治体要望関係として長岡市への要望取りまとめに向けたアンケート実施。長岡地区労協ワーク&ライフセミナー。第26回親善囲碁将棋大会(7月21日)。第90回メーデー。長岡地区大会を4月27日に長岡市立劇場で開催する。各種平和活動の日程。農業・食料・環境問題を学ぶ「そばの種播きとそば打ち体験」(7月29日)。S Jネット主催スポーツ交流会(7月6日)及び各支部の日程などを決定した。

◆見附地区支部 農業・食料・環境問題を学ぶ「そばの種播きとそば打ち体験」(7月29日)。単組交流会(9月)

◆小千谷支部 単組代表者会議及び小千谷地区労協総会&納涼会(6月20日)。平和活動&小千谷地区労協学習会(7月21日)

◆南魚沼支部 仮称・若者向け交流

等のほか、検討課題を共有した。続いて各専門部等の活動について確認・共有した。

今、サッカー・ワールドカップロシア大会が開催されている。この記事が読まれる頃には、優勝国が決まっているだろうか? 日本との奮闘には拍手を送りたい。予選のポーランド戦には賛否両論あったが、決勝トーナメントの戦いを見るに勝ち残る決断が私たちに興奮と感動を与え、「次はブラジル戦か」と思わせる試合だった。勝負は最後の最後まで分らないものだ。日本だけではない、前回大会優勝国のドイツがまさかの予選敗退。強豪国も早期敗退という結果となっている。▼ロシアとの時差があり、



副議長 番場 睦

深夜のテレビ放映により不足になった方が多かったのではないかと。それでも観戦し翌日の話題はサッカー一色になっていく。スポーツは必ず勝ち負けを着けなければならぬが、団体競技においては一人の力では限度があり、皆が纏まらなければ組織としていいものにはならない。▼組合も一人の頑張りではなく、職場全体が同じ方向に向かって日常活動を行い、組織強化に繋がなければならないとサッカーワールドカップを通じて改めて認識した。

◆十日町支部 支部総会(6月29日)。原爆めぐり展(7月27日)8月9日。原水爆禁止十日町市民大会(8月6日)

有した。主なものとしては、①連合新潟第28回年次大会(11月1日)、②中越地協第28回年次総会(11月21日)、③第13回幹事会(議案審議・10月19日・20日、南魚沼支部内)、④各支部における自治体要望の提出関係、⑤地方選挙に向けた推薦手続き等確認した。

連合北陸ブロック 役員研修会 2018連合北陸ブロック役員研修会が、6月17日に石川県で開かれた。連合北陸ブロックは、新潟県、富山県、石川県、福井県の4県で構成しており、70名程の役員と事務局等が



等のほか、検討課題を共有した。続いて各専門部等の活動について確認・共有した。

第1部では、矢木連合本部副事務局長から「働き方改革の最前線での『人口知能(AI)活用等』で何が起るか」と題して基調講演を受けた。

第2部は2分科会に分かれ、「組織担当・アドバイザー会議」と「北陸ブロック地域協議会活動推進会議」が行われた。



第1部では、矢木連合本部副事務局長から「働き方改革の最前線での『人口知能(AI)活用等』で何が起るか」と題して基調講演を受けた。

サラリーマン川柳(秘密保護 家計簿開示 拒まれる)(何故だろう 同じ食事で 妻元氣)(増えていく 暗証番号 減る記憶)(見つからぬ 買えば出てくる 探し物)

サラリーマン川柳 (窓口で 齢も聞かれず 割り引かれ) (幸せにも 程があるだろ その脂肪) (「ママ待つて」パパ小走りで ついて行く) (おなじ事 息子がしても 腹立たず)

連合十日町支部だより

十日町支部は、半年遅れで第10回定期総会を6月29日(金)午後6時30分から、サンクロス十日町で開催した。

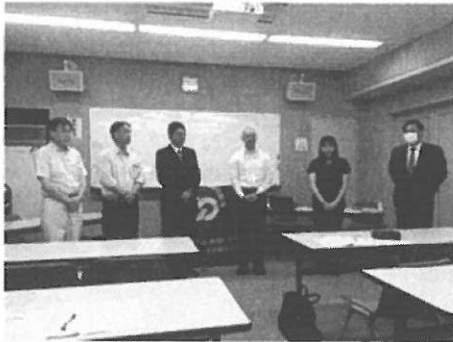
来賓には、梅谷前県議会議員、今井労働金庫十日町支店長、飯田全労済新潟推進本部中越支所長が出席した。

山口支部長からは、例年12月開催していた定期総会が半年遅れの開催となったことの経過やお詫びが述べられ、17年度活動報告、会計決算報告、会計監査報告の承認と18年度の活動方針(案)、予算(案)、役員体制(案)が提案・説明された。

議事では、「活動項目が多くあり、やりきれないのではないか」、「クリーンキャンペーンは、十日町市が毎年4月29日に開催しているクリーン作戦(信濃川河川敷清掃・市内各地区の一斉清掃)に、他の団体と同様に参加してはどうか」などの質問や意見があり、山口支部長からは、「現在の十日町市長になって市政要望を提出していなかったが、私たち地域の労働団体が発言していくべきで、今年度は各単組から意見を出してもらい、行政要望を取り組みたい」、「活動も柔軟に取り組みたい」等の見解が表明された。

役員選出については、選考委員会の確認事項を説明し、大きな単組にのみ依存せず、加盟単組で役割分担をやりつつ、新役員体制で支部活動を進めていくことが承認された。

最後に、続投が決まった山口支部長の団結ガンバロウで総会を締めくくった。



第24回

平和の森コンサート

～響け平和の願い、羽ばたけ長岡の星～

アコースティックデュオ ひなた

7月31日(火)
OPEN 18:00 START 18:30

中澤 卓也

会場: 平和の森公園 (新潟県長岡市本町)
雨天の場合、会場は表町小学校体育館

出演: 中澤 卓也 / アコースティックデュオ ひなた / フェニックス / フルートアンサンブル / ハンドベル演奏 ベルフィール 他

主催: 平和の森コンサート実行委員会
後援: 長岡市 / 長岡市教育委員会 / 長岡市出雲崎町小中学校 / PTA連合会 / 新潟日報社 / NHK新潟放送局 / BSN新潟放送 / NST/TeNYテレビ新潟/UX新潟テレビ21/(株)長岡新聞社 / NCT/FMながおか-80.7

入場無料

お問合せ: TEL&FAX 0258-32-2992(たなか きさく)

へい わ まち 平和を守ろう

昭和20年8月1日は長岡大空襲の日です

真夜中の空襲・市街地の八割は火の海

1945年(昭和20年)8月1日午後10時30分ごろから、アメリカの爆撃機B29 125機が長岡上空に現れ、雨のように焼夷弾を落としました。この空襲により全人口の73%に当たる63,160人が焼け出されました。焼けた家は11,986戸にのぼりました。また、この空襲によって子どもたち約300人をさむ1,486人の尊い命が奪われました。

このようないまわしい戦争が二度と起こらないようにとの願いをこめて、新潟県教職員組合は1951年「平和祭」を創立し、8月1日に「平和祈願祭」を行ってきました。

1984年、長岡市は「非核平和都市宣言」を行いました。
2015年、長岡市は「8月1日を「長岡市恒久平和の日」としました。

一九四五年八月一日(この長岡に投下された爆弾の燦々二二〇個のうちの二二個は、この市街地に落ちました。そのうち一母しに平和をまもり戦争をなくす。と)

空襲で亡くなった子どもたち・教職員と市民を追悼する集い～2018平和祈願祭～
8月1日(水) 午前8時～ 平和の森公園
主催: 新潟県教職員組合長岡支部 後援: 長岡市・長岡市議会
長岡市非核平和都市宣言市民の会

長岡市平和祈念式典
8月1日(水) 午前9時～ アオーレ長岡
主催: 長岡市 共催: 新潟県教職員組合長岡支部・長岡市議会
長岡市非核平和都市宣言市民の会

平和教育資料 長岡大空襲の体験記

八月一日夜の空襲の様子について、当時の小中学生は作文を次のように書いています。

空しゆう

国長小学校四年生 空襲の体験記

「八月一日の夜、空襲の音がして、みんなが寝ていたら、突然、空から大きな音がして、空が揺れました。みんなが寝ていたら、突然、空から大きな音がして、空が揺れました。みんなが寝ていたら、突然、空から大きな音がして、空が揺れました。」

はだしのゲン

一瞬にして 原爆焦土となったヒロシマで たくましく生きぬく 少年ゲン!

平和への熱い願いをこめて 中沢啓治自ら描く笑いと涙と感動!

上映時間 85分

太平洋戦争末期から原爆投下、さらに敗戦からその後、にいたる広島市を背景に、ゲンがさまざまな困難や苦しみにめげず、持ち前のバイタリティーで生きぬいてゆくさま、ときには熱い涙をまじえて感動的に描いています。

市民におくる映画の集い

2018年 8月1日(水) 午前10時15分～11時50分 (10時開場)

アオーレ長岡 交流ホールA

主催 / 新潟県教職員組合長岡支部 後援 / 長岡市

入場無料